

平成 26 年度第 1 回指定管理者選定審査会（概要）

<p>開催日時 開催場所 出席者 (委員) (説明員) (事務局) 傍聴者</p>	<p>平成 26 年 8 月 12 日（火）午後 1 時 30 分から 保健福祉センター 3 階団体活動室 23 名 手島会長 志村副会長 武田委員 中村委員 松山委員 伊藤委員 高齢者福祉課 眞仲課長 山口副主幹 社会福祉課 小松課長 岡本副主幹 金井主査補 市民活動支援課 川上課長 山崎主査補 商工振興課 川上課長 松丸主査補 生涯学習課 藤咲課長 萩原主査 渡邊主任主事 児童家庭課 高橋課長 松尾主任保育士 財政課 渡邊課長 中島主幹 今井主査</p>
<p>事務局 事務局</p>	<p>1. 開会 2. 会長あいさつ 3・議題 会議に先立ちまして、事前に資料を送付させていただいておりますので、そちらの確認をお願いします。 まず、会議通知の次に会議次第がございまして、議題 2 の非公募施設の審査方法について、次に、議題 3 の平成 26 年度の指定管理者導入全体スケジュールの案が入っております。 その次に、モニタリング報告等に関する質問の関係が入っております。回答につきましては、後日、皆さんのほうに送付させていただいております。 それから、A3 の横長の紙になりまして、平成 25 年度指定管理モニタリング評価表、資料ナンバー 1-1 というものがございまして、こちらのほうは枚数が多いのですが、76 ページになっております。 続きまして、ナンバー 1-1、補助資料、モニタリング評価補助資料といたしまして、A4 サイズのものが 64 ページになっております。 次に、ナンバー 1-2、平成 25 年度業務の実績状況確認表ほかということで、A4 サイズのもの、一部 A3 が入っておりますが、295 ページになっております。資料は、以上でございまして。 それでは、本日のスケジュール等をお知らせいたします。 本日は、議題が三つございまして。 1 といたしまして、平成 25 年度指定管理者モニタリング結果の報告について、昨年度の指定管理施設の管理状況等について説明させていただきます。 2 といたしまして、今年度審査を行う非公募施設の審査方法について。</p>

	<p>3といたしまして、今後の会議スケジュールについて調整させていただき、会議のほうは、こちらでの会議は一旦終了となりますが、その後、今年度の審査対象の施設であります高齢者就労指導センターの現地視察のほうを予定しております。</p> <p>本日の予定は、以上となっております。</p> <p>現地までの車につきましては、事務局でワゴン車を用意してございますので、直接行かれても、一緒に乗っていただいても、どちらでも結構です。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開とさせていただきます。</p> <p>また、会議録作成のためICレコーダーで録音し、会議録につきましては、発言の趣旨がわかるようさせていただき、委員の氏名等を伏せて後日公開させていただくこととなりますので、あらかじめご了承くださいと思います。</p> <p>委員会の議事の進行につきましては、白井市附属機関条例第6条第1項の規定によりまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、ここからの議事につきましては、手島会長にお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>承知しました。それでは、ただいま事務局から説明のありました議事進行を次第に沿って進めてまいります。</p> <p>議題1の「平成25年度指定管理者モニタリング結果の報告について」を議題とします。</p> <p>議題1については、一括で説明を受け、説明終了後に施設ごとに質疑を行います。それでは、事務局の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>議題(1)「平成25年度指定管理者モニタリング結果の報告について」説明をさせていただきます。</p> <p>モニタリングは、指定管理者制度のモニタリング基準に従って実施しています。</p> <p>A3のモニタリング評価表の表紙の裏、A3になります。をごらんください。A3の大きい書類です。表紙の裏になります。</p> <p>モニタリングは、指定管理者が自ら行うものと市の所管課が行うものがあり、指定管理者が自ら行うモニタリングとしては、①日報、月報など業務記録を記録し、月報を市に報告すること、②利用者満足度調査としてアンケート調査等を実施し、その結果を市に報告、業務に反映させること、③地方自治法で規定されている事業報告書を業務終了後60日以内にまとめて報告すること、の3項目になります。市の所管課が行うモニタリングには、①年2回以上の立入検査の実施、指定管理者から報告される②月報と③事業報告書の確認、④立ち入り調査・月報・事業報告</p>

書の確認結果などにに基づき、市が評価を行うこととしています。

評価方法は、事業計画書と比較して特にすぐれている場合をA、おおむね事業計画書に沿った管理が行われ、特に改善すべき課題がない場合、計画どおりに実施できていないものがあつたが、代替のものを実施するなどして、おおむね目的が達せられたような場合がB、おおむね事業計画書に沿った管理が行われたが、軽微な改善事項がある場合をC、事業計画書に沿った管理が行われておらず、重大な改善課題がある場合をDとして、統一した評価基準で評価しています。

今回は、各施設、ほぼ事業計画に沿った管理運営が行われており、B評価以上の評価となっていますが、西白井複合センター及び運動公園でそれぞれ1項目、軽微な改善を要するC評価となっています。この評価結果をモニタリング評価表として取りまとめているので、本日は、この評価表をもとに、管理が適切に行われたか、市の評価が適切かなどについてご意見をいただくものです。

それでは、モニタリング評価表の説明をさせていただき、質疑やご意見をいただきたいと思ひます。本日、ご意見等をいただきまして、今後の管理運営の一助とさせていただき、よりよい施設運営をさせていただければと考えております。

本日は、あらかじめ資料はお配りしておりますので、時間の関係もあり、評価結果でAとしたものなど、特徴のある部分に絞って説明をさせていただきます。

また、事前に質問をいただいておりますものについては、回答書にまとめ郵送で配付させていただいておりますので、説明終了後、各施設の質疑の際、説明をさせていただきます。

また、モニタリング評価の判断材料であります市の立ち入り調査の結果、財務状況の確認結果、指定管理者からの事業報告書は、資料1-2に施設の順番に綴じておりますので、必要に応じて参考にさせていただきたいと思ひます。

評価表の1ページをご覧ください。

左の評価項目は、市が募集を行った際に応募団体に提出を求めた事業計画書の項目に沿って記載されています。審査も、この項目に沿って行われています。

事業計画の内容は、事業計画書で指定管理者が自ら行う計画として提案している内容で、その右側の管理実績は、提案のあつた計画に対し、どう実施されたか実績を表しています。その右側、評価の欄は、事業計画書で計画された内容に対して、管理の実績欄にあります管理運営内容の実績で適切に実施されているかなどを評価し、AからDの基準に基づき評価した結果を示しており、最も右側の評価の事由の欄は、AからDとした事由を簡潔に記載したものです。

<p>会長</p>	<p>それでは、青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所から、順次、各担当課より説明させていただきます。</p> <p>お願いします。それでは、よろしくお願いします。</p>
<p>高齢者福祉課</p>	<p>高齢者福祉課長でございます。本日、ご説明させていただくに当たりまして、担当を同席させておりますので、担当のほうから説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>承知しました。それでは、よろしくお願いします。</p>
<p>高齢者福祉課</p>	<p>まず初めに、施設の特性やモニタリングの方法につきましてご説明いたします。</p> <p>福祉センターにつきましては、老人福祉センター、青少年女性センター及び福祉作業所の3施設の複合施設となっております。白井市の社会福祉協議会が指定管理者となりまして一体で管理運営を行っております。3年間の指定管理期間の初年度となる25年度になります。</p> <p>なお、モニタリング評価につきましては、同じ職員が業務を行っている老人福祉センターと青少年女性センターを一体としまして、福祉作業所と分けて評価を実施しております。</p> <p>老人福祉センターにつきましては、高齢者の福祉の向上を目的に教養の向上やレクリエーション活動の場を提供しておりまして、高齢者の憩いの施設としての位置づけが強く、60歳以上の方を対象としております。</p> <p>次に、青少年女性センターですが、青少年の健全育成と女性の社会活動の促進を図ることを目的としまして、青少年と女性のグループ活動や研修、会議、情報提供の場などを業務としております。この施設は、平成8年から一貫しまして社会福祉協議会が管理運営を行っておりまして、地域からの信頼を得た団体となっております。</p> <p>それでは、事業の評価につきましてご説明いたします。</p> <p>ほとんどの事業につきましては、事業計画書に沿った管理運営が行われているためB評価といたしました。中でも、モニタリング表の2ページにありますけれども、自主事業につきましては予定講座数や講座実施回数を大きく上回っているため、特にすぐれているA評価をつけました。</p> <p>総評としましては、今までの実績やノウハウを生かしまして、青少年女性センターでは、地震と防災に関する知識を学び、いざというときに子供の命を守る知識を学ぶ、子育て支援講座のすぐに役立つ防災術や、老人福祉センターでは、介護保険と対の住みかという介護保険の基礎的な内容と高齢者施設の種類と特徴についてを学ぶなど、新規講座を開催いたしまして、自主事業の充実や社会福祉協議会の特性を生かしてボラ</p>

	<p>ンティア団体との連携などが図られ、全体として利用者へのサービスの向上が図れておりまして、また、着実な管理運営が行われ、良好と判断いたしました。</p> <p>また、合同事業といたしまして、あじさいまつりや納涼祭、春の会など、季節にちなんだ催し物を実施しておりまして、さらに、福祉センター利用団体や3施設の合同のセンターフェスティバルを開催しておりまして、青少年からお年寄り、また、障害を持つ方までが一緒となって事業を進めております。以上で、モニタリング結果の説明を終了いたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。これは、まず、最初に、ご説明をずっと伺ってしまう形になりますね、続けて。一括で説明を受け、説明終了後に、施設ごとに質疑を行うということですので。</p>
社会福祉課長	<p>続きまして、社会福祉課でございます。</p>
手島会長	<p>お願いします。</p>
社会福祉課長	<p>社会福祉課で所管しておりますのは、同じ項目の1になります福祉作業所と2番の地域福祉センター、4番の障害者支援センターになります。福祉作業所につきましては、担当のほうから説明をさせますので、よろしく願いいたします。</p>
手島会長	<p>よろしくお願いします。</p>
社会福祉課	<p>社会福祉課です。よろしくお願いします。</p>
手島会長	<p>よろしくお願いします。</p>
社会福祉課	<p>では、モニタリング評価表、6ページから8ページになります。青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所のうちの福祉作業所についてのご説明をさせていただきます。</p> <p>福祉作業所につきましては、平成25年度から障害福祉サービスの一つであります就労継続支援B型事業所としまして、在宅の心身障害者の福祉の向上を目的にしまして、それぞれの障害の状況に応じて通所により就労や生産活動の場の提供、指導、社会生活への適応を含む生活指導などを行っており、作業室、売店運営などがあります。この施設については、限られた作業環境の中でボランティアや地域企業と連携し、工夫をしながら利用者の個々の能力に応じた作業指導や生活訓練が引き続き行</p>

	<p>われている状況です。</p> <p>今回の評価につきましては、事業計画どおり管理運営が行われていることから、全てB評価とさせていただいたところです。C、D評価がなかったことにつきましては、指定管理者モニタリング基準に従い評価した結果、軽微また重大な改善課題がなかったことから、C、D評価はしていない状況です。</p> <p>簡単ですが、福祉作業所についての説明は終わらせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
社会福祉課	<p>社会福祉課の厚生班です。</p>
会長	<p>お願いします。</p>
社会福祉課	<p>着席にて説明させていただきます。ご説明の前に、1カ所、訂正箇所がございますので、お知らせいたします。</p> <p>評価表の10ページ、評価項目(3)の利用促進についての事業計画の内容のところで、広報紙「福祉しろい」等によりの「福祉しろい」でございますが、こちらは「社協しろい」の誤りでございますので、恐れ入りますが訂正をお願いいたします。</p>
手島会長	<p>訂正が一つございます。</p>
社会福祉課	<p>それでは、評価表、9ページから11ページのご説明をいたします。</p> <p>私のほうからは、地域福祉センターのご説明をさせていただきます。</p> <p>地域福祉センターは、地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じて各種相談やボランティアの養成、また、その活動の場の提供等、各種事業を実施し、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ることを目的にしています。</p> <p>また、指定管理者である白井市社会福祉協議会は、地区社会福祉協議会やボランティア団体の活動支援のほかに、日常生活自立支援事業の実施や就労継続支援事業所を平成25年の4月から立ち上げるなど、地域福祉の推進のため各種事業を実施しています。</p> <p>地域福祉センターの指定管理の主な内容につきましては、白井市保健福祉センターの3階部分にあるこちらの団体活動室と、ほかに録音室、翻訳室の貸し出しなどの業務です。</p> <p>それでは、資料、9ページをごらんください。</p> <p>評価項目1の管理業務の基本的事項や2の施設維持管理については、おおむね事業計画どおり行われています。評価項目3の市民サービスの</p>

	<p>向上として実施している自主事業といたしまして、総合相談、まごころサービス、ガイドヘルパー事業を実施し、ボランティアセンターでは、傾聴ボランティア養成講座、点字ボランティア養成講座、初級手話講座や福祉サマースクールなどの各種講座の開催を実施し、地域住民の福祉の増進、福祉意識の高揚を図るため、施設の有効活用に努めています。</p> <p>続いて、10ページをごらんください。</p> <p>昨年度は苦情について4件ほどあり、説明不足や情報提供不足によるものでしたが、こちらは全て解決しております。また、施設の利用状況については、利用者数が増加傾向にあり、良好であると認められます。評価項目4、料金収入の実績については、利用料を徴収していないこと、評価項目5、管理経費の支出状況については、維持管理費は市が直接支出していることから、今回、特に評価はしておりません。</p> <p>総評としましては、広報紙やホームページ等により各種講座や活動の情報を提供し、利用者、登録団体の拡大と施設の利用率の向上に努めており、おおむね事業計画どおり管理運営ができていたものと判断し、全体としてB評価としています。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>それでは、12ページになります。</p>
<p>会長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>高齢者就労指導センターにつきまして説明させていただきます。</p> <p>この施設につきましては、高齢者が健康で生きがいのある自立した生活が送れるよう、高齢者の就労に必要な技能の習得及び教養の向上を図る事業を行っております。現在、公益社団法人白井市シルバー人材センターが指定管理者として管理運営を行っております。主な施設としましては、作業室、研修室、会議室などがあります。</p> <p>それでは、事業の評価についてご説明いたします。</p> <p>全ての事業につきまして、事業計画書に沿った管理が行われているため、B評価といたしました。</p> <p>総評としましては、各種講習会等の自主事業の実施につきましては計画どおりの実績を上げておりまして、着実な管理運営が行われ、施設の設置目的であります就労支援や生きがいづくりが図られ、良好な施設運営がなされたものと評価しています。また、前年度指摘しました新規講習会の検討につきましては、介護の講習会としまして女性のための家事サポート講習会を実施しております。</p> <p>施設利用などの周知につきましては、ふるさとまつりでのチラシ配布</p>

	<p>や市の出先機関でのポスター掲示に努めています。</p> <p>また、企業等のニーズの把握につきましては、市内の工業団地内の企業を対象にしまして訪問活動に努めておりまして、おおむね実施されております。</p> <p>今後は、ハローワークや県のシルバー人材センターなどの関係団体と連携し、就労支援や高齢者の生きがいくりの施設運営に努めたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>それでは社会福祉課でございます。</p> <p>続きまして、モニタリング評価表 15 ページから 19 ページになります。</p> <p>白井市障害者支援センターの指定管理者モニタリング評価表についてご説明をさせていただきます。</p> <p>障害者支援センターにつきましては、障害者の自立した日常生活や社会参加を支援することにより、障害者の福祉の向上を図ることを目的に平成 22 年度に開所しており、指定管理者として平成 25 年度で 4 年目の運営というふうになります。指定管理者につきましては、NPO 法人フラットになります。</p> <p>センターには、作業訓練室が 2 部屋、多目的室が 2 部屋、相談室が 1 部屋、その他、事務室や食堂があり、生活介護サービス、放課後等デイサービス、日中一時支援、相談支援事業等を行っているところでございます。</p> <p>当該法人につきましては、平成 20 年度に市内で初めて民間障害福祉施設の設置、運営を行った事業所でありまして、障害者支援センター以外でも、生活介護事業、ホームヘルプサービス等の居宅介護サービス事業などの運営を行っているところでございます。これらの事業経験から、障害者支援センターの管理運営についても利用者の障害特性の理解に努め、重度障害者の利用が多い中で個々の障害の状況に応じた適切な支援を行っているところでございます。</p> <p>なお、施設につきましては、条例上、市内在住者の利用という制限があるため、利用者は少ない状況となっておりますが、住宅街にあるという立地条件を生かし地域住民との交流を図るなど、障害者支援センターの周知を図り利用促進に努めており、今回の評価としては、事業計画どおり管理運営が行われていることから、全て B 評価としているところでございます。C、D 評価がなかったことにつきましては、指定管理モニタリング基準に従い評価した結果、軽微、重大な改善課題がなかったことから、C、D 評価はしていないところでございます。</p> <p>簡単ですが、障害者支援センターの説明を終わらせていただきます。</p>

会長	<p>ありがとうございます。では、よろしくお願ひします。</p>
市民活動支援課	<p>それでは、続きまして、白井コミュニティセンター・白井児童館についてご説明をさせていただきます。</p> <p>私は、白井コミュニティセンターを所管しております市民活動支援課長でございます。隣が、担当でございます。</p> <p>それから、児童館につきましては、課が分かれまして児童家庭課というところで管理しております。説明につきましては、私のほうで一括して行わせていただきます。</p>
市民活動支援課	<p>資料につきましては、評価表の 20 ページから 29 ページになります。初めに、恐れ入りますが、資料の訂正を 1 点お願いいたします。28 ページになります。</p> <p>(6) 施設の利用状況のところの一番右側、評価の事由のところでございますが、これの黒点の三つ目「白井児童館の利用者数についても」というところがございまして、この先に「24 年度」という記載してございまして「25 年度」の誤りでございまして、訂正をお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、ご説明をさせていただきます。</p> <p>初めに、施設の概要でございますが、白井コミュニティセンターは、旧中央公民館の老朽化に伴い旧中央公民館を解体し、その跡地に建設された市内初のコミュニティセンターでございます。施設の目的は、市民相互の交流により市民の地域活動を育成し、住みよい地域社会の形成に寄与することを目的としています。建設に当たっては、市民参加を基本姿勢とし、地域住民や施設利用者などを構成メンバーとした住民検討会や建設準備委員会で、建設用地や施設内容、施設規模などの検討を重ね、平成 23 年 6 月 10 日にオープンした施設です。貸し出し用の部屋は 7 部屋で、特徴的なものとしたしまして、電気式の陶芸窯を備えております。</p> <p>白井児童館は、白井コミュニティセンターと同一敷地内にあり、児童福祉法に基づいた児童の健全な育成を図るための施設となっております。コミュニティセンターの建設工事とあわせて平成 22 年度に改修工事を行い、平成 23 年 4 月 1 日に開所した施設です。4 月から 5 月 31 日まで市直営で管理を行い、6 月からはコミュニティセンターと同様に指定管理者により管理運営がされている施設となっております。平成 25 年度につきましては、第 1 回目の指定管理期間の最終年となっております。</p> <p>全体といたしまして、事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、実績も予定どおり達成できていることから B 評価が多くなっていますが、特に A 評価とした部分を中心に説明をさせていただきます。</p> <p>初めに、23 ページでございますが、(2) 番、管理運営経費の削減についてです。節電による電気料金を抑制するため、電力使用量が上昇し</p>

たときにアラームで知らせるデマンドコントローラーを指定管理者が独自に設置し、経費の削減に努めています。

また、人員配置については、施設が二つに分かれていることから非効率になりがちですが、職員中5名が児童館業務に関する資格所持者を雇用し、両施設の事務を行うことができ、非常に効率的な職員体制が確保されているところからA評価としております。

その下の3番の(1)自主事業の実施について、でございますが、コミセンフェスタについて当初から実行委員会方式で開催していますが、年々、参加団体が増加しています。

また、街コンd e白井は、最近、晩婚化している中で、地域の課題に対応した結婚活動支援事業の企画で、参加者は48名、この中から8組のカップルが誕生しています。次回開催について多数の要望が出ている状況でございます。

児童館につきましては、若者のたまり場支援として白井自悠館と命名し、毎週金曜日に開館時間を2時間延長し、学習支援者を配置した学習支援を行っているなど、特に評価できることからA評価としております。

次に、27ページ、(4)番、利用者ニーズの把握方法と対応について、でございますが、イベントや館内備えつけアンケートのほか、ホームページ、携帯サイトからの書き込みができるようにしたこと、利用者からの意見、要望は定例会議で議論し共通認識を図っているほか、各センター共通の内容についてはセンター長会議や担当者会議で共通認識が図られていることは評価できることからA評価といたしました。

次に、28ページ、(6)番、施設の利用状況については、平成24年度に比較し利用者数が3,000人程度増加していることからA評価といたしました。

29ページの総評ですが、特記事項の3点目、平成26年度から28年度の指定管理者の審査をお願いしたところでございますが、昨年、現指定管理者の合同会社しろい光夢辿の業務執行社員である法人が介護保険事業者指定の全部停止処分を平成25年11月1日から1カ月受けたとの報道がありました。この時点で既に審査は終了しておりましたが、同社を指定管理者とすることが適当かどうかということにつきまして、市の顧問弁護士等に相談を行いました。その結果、特に問題はないということであったため、議会に議案を上程いたしました。しかしながら、議会からいろいろと問題提起をされたほか、指定管理期間中の業務執行社員の辞任及びその業務執行社員が請け負っておりました清掃等の業務の委託先の変更など問題が生じました。

なお、これにつきましては、委託先の変更に伴う施設の管理について支障がなく適切に行われております。

次に、ここに記載はしていませんが、本年1月16日に、近所にお住

	<p>いの方が振り込め詐欺の被害に遭うところを未然に防いだということがあり、印西警察署長から感謝状を贈呈されています。詳細は、先ほど配付させていただきました「広報しろい」の2月15日号の表紙に掲載をされているところです。</p> <p>コミュニティセンターにつきましては、住民が気軽に相談できる雰囲気ができ上がっており、利用者もオープン以来確実に増加していることから、指定管理期間全体を通しまして良好な管理運営が行われたものと考えております。説明につきましては、以上でございます。</p>
会長	<p>わかりました。ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p>
商工振興課	<p>よろしいでしょうか。商工振興課です。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>よろしく申し上げます。</p>
商工振興課	<p>30ページから41ページ、長いのですがけれども、白井市公民センター・勤労青少年ホーム、こちらについて説明させていただきます。</p> <p>指定管理者は、特定非営利活動法人ワーカーズコープとなっております。</p> <p>この施設は白井工業団地内にある施設でありまして、主な利用者は、地域住民、それから、工業団地の企業の方々となっております。</p> <p>評価について、でございますけれども、多くの項目があるのですがけれども、全ての項目についてB評価といたしました。おおむね良好に管理がなされていると判断したところでございます。</p> <p>評価項目がかなりありますので、41ページの総評をごらんになっていただいで説明したいと思っております。</p> <p>総評の特記事項でございますけれども、特定非営利活動法人のワーカーズコープが指定管理者であります。25年度は6年目、こちらが終わりまして、積み上げてきた実績を生かし地域のコミュニティーの拠点から発展させ、人と人とのきずなが結ばれる居場所づくりの質の向上を目指し、現在48名の講師録の登録者を講師に起用した自主事業を多彩に行い、地域を支援する道筋が確立するための事業展開を行ってまいりました。</p> <p>また、事業者は、地域、関係機関との信頼関係を築き上げ、地域の住民や自治会等との連携を進めてきているところでございますが、昨年度25年度につきましては、センター長を初め職員の入替えがございまして、利用者が不安を感じないかというところの心配がございましたが、地域や自治会はセンターなしでは管理運営していけないという声もありまして、順調に地域コミュニティーの形成を確保して根づき始めている</p>

	<p>と思われます。</p> <p>特に児童室の施設におきましては、放課後、夏休み等、安心して長時間過ごせるような事業を開催するなど、地域の課題であります子供たちの居場所づくりに多くの自主事業を行い、保護者との信頼関係を深めております。</p> <p>公民センター、児童室、それから、図書室部分でございます。それから、勤労青少年ホーム、レクリエーションホール、それから、視聴覚室等々、施設から成るものでございますけれども、こちらの複合施設の特徴づけを生かし、さまざまな世代の参加者がフェスティバルなどを通じ世代を越えた交流が行われ、施設がネットワークづくりを担う拠点として貢献されております。また、利用者も定着しており、コミュニティー施設、複合施設としての適切な管理運営が行われたものと考えられます。引き続き、このワーカーズコープが指定管理者として適切な管理と地域の関係機関との連携を行うことが見込まれるものです。</p> <p>改善指摘事項は特にございません。</p> <p>なお、この施設の勤労青少年ホームでございますけれども、さきの市の事業仕分けの指摘を受けまして平成 25 年度をもって廃館しております。ただし、26 年度からは、公民センター施設全体、一体化として運営しているという事情がございます。</p> <p>説明は、雑駁でございますけれども、以上でございます。</p>
会長	どうもありがとうございます。それでは、お願いします。
生涯学習課	生涯学習課です。よろしくお願いたします。
会長	よろしく。
生涯学習課長	<p>生涯学習課所管につきましては、42 ページの白井駅前センターから一番最後になります、11 番の白井運動公園までが所管してございますので、順次、説明をさせていただきます。</p> <p>まず初めに、白井駅前センターから説明いたします。</p> <p>調査表につきましては、42 ページから 49 ページまでとなります。</p> <p>駅前センターは、公民館、児童館及び老人憩いの家から成る複合施設であり、公民館施設として、レクリエーションホール、視聴覚室、調理室、研修室、作法室を整えております。</p> <p>指定管理は特定非営利活動法人ワーカーズコープであり、平成 25 年度は、平成 21 年 4 月からの 5 年間の指定管理期間の最終年度であります。</p> <p>平成 25 年度の評価については、全体として事業計画に沿った業務が良好に遂行されていたと判断し、全て B としました。</p>

総評としまして、公民館として指定管理者制度導入した最初の施設であり、平成 25 年度を含む 5 年間、安定した営業であったと考えております。

次に、西白井複合センターについて説明いたします。

調査表の 50 ページから 56 ページとなります。

西白井複合センターも白井駅前センターと同様の複合施設であり、公民館施設としての施設でもほぼ白井駅前センターに準じたものとなっております。

平成 25 年度も、特定非営利活動法人ワーカーズコープが前期に引き続き指定管理者に指定されております。

平成 25 年度の評価につきましては、管理体制における必要な資格保持において社会教育主事が平成 25 年 9 月から不在となっている状況であったことから、当該部分の評価について C 評価とし、その他については B 評価としました。

総評といたしまして、改善・指示事項に、同職の配置について早期に改善を求めているところでございます。

次に、桜台センターについてご説明いたします。

桜台センターにつきましても、前に説明しました駅前センターと西白井複合センターと同様の複合施設となっております。

平成 25 年度は、合同会社しろい光夢辿が新たに指定管理者として指定されております。

評価表につきましては、57 ページから 66 ページとなります。

平成 25 年度の評価につきましては、全体として事業計画に沿った業務が良好に遂行されていたと判断して B 評価とさせていただきました。

次に、白井市民プールは、平成 3 年度に開設し 23 年を経過し、25 メートルプール、流れるプール、ウォータースライダーなどを備えた比較的娯楽性の高い社会体育施設です。

指定管理者は、株式会社協栄千葉支店でございます。

評価表につきましては、67 ページから 71 ページとなります。

平成 25 年度の評価については、施設の利用状況及び料金収入の実績については A 評価とし、その他につきましては B 評価とさせていただきました。A 評価につきましては、自主事業が、水泳教室やプールバレーボール大会、七夕イベント等を開催し、利用者へのサービス向上を図られ、多くの参加者が得られたこと。また、利用者数につきましては、平成 24 年度と比較して 2,000 人ほどの増になり、それに伴い使用料金収入の事業計画から比較し実績が約 700 万ほど増になったことについて評価したものでございます。

総評といたしまして、プールの開館期間中、大きな事故等もなく運営されたこと、入場者数が 6 万 5,249 人と過去 10 年間で最高の入場者数で

	<p>あったことを評価したものでございます。</p> <p>次、最後になります。白井運動公園についてご説明させていただきます。</p> <p>評価表につきましては、72 ページから 76 ページとなります。</p> <p>白井運動公園は、平成9年度に開設し17年を経過してございます。施設の概要は、陸上競技場1面、テニスコート6面、多目的グラウンド1面の単機能で構成されております。一般の方はもちろん、小中学生の競技会で使用するなど、多様なニーズに合うスポーツ施設でございます。</p> <p>指定管理者は、三幸株式会社でございます。</p> <p>評価につきましては、平成25年度の評価につきましては、全体として事業評価に沿った業務が良好に遂行されたことを判断し、おおむねBと評価してございますが、自主事業について、開催種目がマンネリ化しており参加者が低迷しているため、自主事業の見直しを行い利用者のニーズに合った事業展開し、多くの参加が得られるよう検討する必要があると思われることから、この部分につきましてはC評価としたものでございます。簡単でございますが、以上で説明を終わらせていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。これで管理指定モニタリング結果報告についてのご説明を受けたということでございます。</p> <p>それでは、施設ごとに質疑を行います。</p> <p>今回は、事前に質問が出ている施設について、先ほど事務局の説明を受け、その後、質疑を行います。</p> <p>質疑については、挙手していただきまして、そして、指名いたしましてから発言をお願いいたします。</p> <p>それでは、最初の青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所について質疑を行います。</p> <p>これにつきましては事前に質問が出ていますので、事務局からご説明をお願いいたします。では、事務局、どうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所の評価表、3ページに関しまして、(2)市民サービス向上の方法についてサークル立ち上げ団体3件とありましたが、どのような団体ですか。ということで、担当課より、サークル立ち上げ団体名として、①コトコト(料理)、②虹(コーラス)、③フークラブ(アスレチック吹き矢)。</p> <p>コトコトは、青少年女性センター募集のワンデーシェフの魅力講座の方々が、ワンデー事業に協力し、コミュニティーCafé(集いの場)の事業に協力していただいていますということです。</p> <p>虹の団体は、老人福祉センター事業のコーラスの講座を開催後に立ち上がりました。</p>

	<p>フックラグについては、老人福祉センター事業のアスレチック吹き矢講座開催後にサークルとして立ち上がりましたということです。</p> <p>補足としまして、ワンデーシェフとは、プロでない料理の得意な一般の主婦や学生、OLが、1日だけレストランを経営し、コミュニティーを通じて飲食経営をすることということです。</p> <p>その下、利用促進について、同じく3ページ、「はつらつタイム」とは具体的にどのようなものかというご質問でしたが、「はつらつタイム」は、介護予防を目的に高齢者の健康増進事業として、理学療法士の指導のもとストレッチ体操などの介護予防運動やビンゴゲームなどを行っています。その他、健康相談を行いながら血圧測定なども集会室で実施していますということです。</p> <p>4ページの4番、料金収入の実績に関する事項について、老人福祉センターの市外利生者が大幅に減少しているが、その理由は何かということです。</p> <p>回答としまして、市外利用者には、ホームページでの掲載により市外利用者向けに周知活動を行っております。市外利用者の減少につきましては、特段その理由については捉えておりませんが、同じ方の利用が主で、その方々の事情により減少したと考えられます。</p> <p>同じく料金に関して、また、減少が続いているのなら、計画段階で利用者数を見直すべきではないかと考えるが、今後どのように対応しますかということで、市外利用者につきましては年々減少傾向にありますので、次回更新時には検討していきたいと考えています。ということです。</p> <p>次に、資料の1-2の20ページ、福祉センター及び福祉作業所決算報告書、2番、事業費の中で業務委託費が98万5,792円減少しているが、その理由は何かということで、福祉センターは夜間管理業務を委託していますが、夜間管理については開館日数により予算化しているため、施設の利用と部屋の申請がなければ閉館となり、その分の経費を支出しないことから差額が生じました。</p> <p>また、空調設備の保守管理等の委託業務を1年契約から3年契約にしたため、契約金額が長期割引の適用になり低額にすることができたものですということで、夜間管理費につきましては予算と実績51万3,000円、施設管理費については47万2,000円の残額が出ている状況でございます。以上が、質問いただいた分の回答の説明です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所につきまして、質疑がある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>資料の4ページ、施設の利用状況(6)とあるのですが、25年度にお</p>
会長	
委員	

	<p>きましては、残念なことに老人福祉センターが初めて利用者が3万人を割っている、青少年女性センターにおきましても大きく減っている。評価としては、それぞれ講座等を十分行っていて定員を上回る利用があったということでB評価をすることは問題ないのですが、総数として減っているということは何かしらそこに要因があったものなのか。また、今後とも、そういう傾向が見られるものなのか。その辺について、どのように捉えているか考え方をお聞かせいただければと思うのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、ただいまの委員のご質問に対してご回答をお願いいたします。</p>
<p>高齢者福祉課</p>	<p>それでは、初めに、老人福祉センターでございませけれども、はっきりしたことは言えませけれども、今、年金も、だんだん引き上がりまして65歳からということがどうか、となりまして、あと、仕事をされている方が、60歳を超えても仕事をなさっている方が多くいるということで、今、利用者の方から聞きますと、毎日とは来ていないけれども週に数日は来ているということをお聞きして、そのほかは仕事に行っていますということは聞いています。</p>
<p>会長</p>	<p>60を過ぎても仕事をしている人がふえたという。</p>
<p>高齢者福祉課</p>	<p>ふえているのは一つの要因かとは思いますが。 それから、青少年女性センターの理由につきましては、2階にレクホールがあるのですけれども、そこで以前まではフットサルとか少年サッカーをやっていたのですけれども、壁にいろいろぶつけてしましまして壁が壊れるということがありまして、フットサルとか少年サッカーについては使用を禁止しております、その関係があるかと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。今のご説明でよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>一つは、老人福祉センターについては、登録者数は減ってはいないけれども、来られる回数が減っているという傾向が見られるという解釈でよろしいのでしょうか。 それと、青少年女性センターについては、フットサルと少年サッカー、これ多分、団体利用があったのだけれども、禁止したことによるものという。 今後については、その空いた時間を活用するようなPRに努めていただければというふうに思います。よろしくお願ひしたいと思えます。</p>

<p>会長</p>	<p>説明員のほうはいかがでしょう、何かコメントについて。空いた時間利用を考えてほしいということです。</p> <p>よろしければ、ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私から二、三伺ってもよろしいですか。</p> <p>先ほど〇〇委員のご質問にありました業務委託費の関係でご質問ありましたけれども、資料の横長の紙、資料ナンバー 1-2、ページ 20 です。</p> <p>20 ページの老人福祉センター・福祉作業所決算報告書と書いてある部分、3施設、青少年女性センター、老人福祉センター、福祉作業所の3センターの合計の20ページの予算額、決算額と差異点が出ているのですけれども、横長の紙、よろしいですか。</p> <p>そこで、これを拝見してパッと目に入ったのは、期末の法人会計繰入額 785 万と一番下のほうにあります。これは、決算額の歳入の合計が 7,400 万ですから、通常、企業で言えば純利益率 10%以上というような感じになっちゃうわけですがけれども、その内訳は何かというふうに見ておりましたら、収入のほうも 300 万ぐらいふえている、それから、支出のほうは、これは 300 万ぐらい減っているのです。これらが主因となって 785 万円の差額が出たということなのですがけれども、さらに、その内訳を見ていきますと、収入のほうではその他収入というのがございまして、これは予算の 1,900 万から二千二、三百万の増のため約 300 万ふえている。一つには、これは中身は何なのか、もしご存じなら教えていただきたいと。つまり、当初計画を提出した段階と、それから、最終決算の段階で、収入が 300 万円以上ふえている、その大半がその他収入なのです。これは何なのだろうというのが一つございまして。</p> <p>それから、その意味では支出のほうの人件費。先ほど志村委員がおっしゃった業務委託費というのが減っているほうの項目の大きな項目ではあるのですけれども、それ以上に減っているのは人件費なのです。端的に言って職員俸給が 110 万ぐらい減っているわけです。それに次ぐのは、さっきの業務委託費で、これが 100 万近くです。業務委託費の説明は先ほど説明書の中で伺ったのですけれども、その人件費、これ職員の俸給ということで、通常は予算からそんなに変わるものじゃないだろうという気がするのですが、何で 100 万も減ったのかなと。その2点を教えていただけるとありがたいのです。よろしく願いいたします。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>福祉作業所の関係が結構大きいのかなと思います。その福祉作業所でのその他の収入、これにつきましては、去年までにつきましては、24年度までにつきましては、かかった経費について市が指定管理料として支払っていましたがけれども、25年度から、B型事業所ということで福祉サービス事業者ということで認定を受けまして、何人通ってきたら幾らあ</p>

	<p>げますよというような形で市が払うわけですが、国の法定サービスということで、払ったサービス費の2分の1が国、4分の1が県、あとの4分の1を市が負担するというような法定サービスの費用負担になります。この主なものというのは、サービス経費としてここに入ってくるものです。</p> <p>予算がかなり増えていたものにつきましては、当初14人ぐらいの利用者しかないだろうというようなことで積算しておったのですが、年度末で19名、利用者がふえたということで、その利用がふえているというような状況かと思えます。</p> <p>あと、人件費につきまして100万ぐらい減っているのですが、25年度から施設を開所するに当たりまして、人事異動等の関係で俸給の高い職員が、こちらの本庁のほうと作業所のほうでの職員の異動がありまして、若い職員が福祉作業所の所長になった関係で人件費に差が出ているというような状況でございます。</p>
会長	<p>わかりました。どうもありがとうございます。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。青少年女性センター・老人福祉センター・福祉作業所でございますけれども。</p>
委員	<p>済みません、もう一つは、細かい点であれなのですが、1ページのところで、一番下の施設の設備の維持管理について、下から3行目に、大規模な修繕を必要とする場合には市の担当課と協議の上、対応します、という記載があるのですが、具体的に、実際に大規模な修繕を必要とする場合というのは生じたのでしょうか。</p>
高齢者福祉課	<p>老人福祉センターなのですが、上のお風呂のろ過器の中のものなのですが、ろ材の入れかえとか、いろいろな修繕、年間にしますと100万以上はありました。</p>
会長	<p>それは市のほうで対応ですね。</p>
高齢者福祉課	<p>そうです。10万以上につきましては、市で修繕をしています。10万以下につきましては、指定管理者が担当しています。</p>
会長	<p>わかりました。ありがとうございます。いかがでしょう。</p>
委員	<p>10ページの6番のところですが、利用できる団体を拡大し利用率向上に努めたとなっているのですが、利用できる団体の要件ってどのように拡大したのですか。</p>

会長	それでは、10 ページですね。
委員	下から二、三行です。
会長	<p>そうですね。利用登録団体、利用できる団体の要件を拡大というところですけども、どのような形で要件が拡大されたか。</p> <p>これは留保させていただきまして、また、次にいったときにお答えいただくとして、青少年女性センター、福祉センター、福祉作業所のほうはいかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。特に追加のご質問なければ、質疑をこれで終了させていただきますまして、2 番目の地域福祉センターに移ります。</p> <p>ということで、今のご質問です。お答えいただければと思いますけれども。よろしくお願ひします。</p>
社会福祉課	<p>事業の要件の拡大ということで、この要件につきましては、当施設が無料ということで、地域福祉の向上のために活動する団体等というような規定の仕方をしております。その中で新たな団体とか出てきた場合には、地域福祉の観点というようなことで、その枠というような、拡大というような、要件というようなことでは、これをここまで広げたということではないのですけれども、臨機応変に目的に沿った形で利用団体等の登録を進めているというような状況です。</p>
委員	<p>ということは、要件と仰々しいといつちやおかしいけれども、枠というふうに考えていいのですか。とにかくいろいろな人を受け入れましょようと、そういう認識でよろしいですか。</p>
社会福祉課	<p>そうですね。25 年度ではないのですけれども、モニタリング 26 年度の話では、健診等を行いたいという老健の団体等がございまして、これまで利用の制限とかという形で利用目的として健診はどうかという話があったのですが、それについても、この施設の目的が健康の増進もあるということで、ある程度幅を持たせて、あいているのならば利用率の向上に努めるというような対応をとっている状況でございます。</p>
委員	幅を広く、そういう認識でいいですか。
社会福祉課	はい。
会長	よろしいですか。それでは、地域福祉センターのほうですけども、

<p>委員</p>	<p>ほかにかがでしよう。質疑おありの方は挙手を。</p> <p>すごく細かい名称の件なのですけれども、9ページの上のほうの(2)の①のところ、事業計画の内容のところでは、①で、人員配置を考慮させた。至急事務局長から庶務班へと、実績では、事務局長から管理班へとなっているのですけれども、これは何か名称が変更された。何かそれには理由がおありなのでしょう。人員を見ると、常勤、臨時、非常勤、各1人という、そこは変わっていない感じなのですけれども、組織図の名称だけが変わったということなのでしょう。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>社協のほうで管理する部門につきましては庶務班から管理班ということで、同じ業務で名前が変わったというだけなのですけれども、組織全体の中で生活支援をやるところの部署を作ったとかという形で、内部的に組織変更したということで名前が変更になったというような状況でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですか。わかりました。ありがとうございます。</p> <p>よろしゅうございますか。特になければ2番目の地域福祉センターについての質疑を終了したいと思います。</p> <p>それでは、3番目の高齢者就労指導センターに移ります。</p> <p>これにつきまして質疑がある方は挙手をお願いいたします。どうぞ。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員さんからいただきました高齢者就労指導センターの質問に対する回答について説明をいたします。</p> <p>評価表、13ページ、(6)施設の利用状況、平成21、22年度と比べると半減している理由は何かという質問ですが、従前は、センター内で行われていた作業で使用していた人数を含め利用回数等として把握していましたが、平成24年度からは会議や講習会での利用に限定したため、利用回数や利用者数が減少しています。</p> <p>次に、評価表、14ページ、(1)審査時の指摘事項、高齢者就労支援を受け入れる団体(企業)の発掘をどのように行っているかという質問です。</p> <p>市では、高齢者の就労に関するニーズを把握するため、工業団地協議会と連携し、240社に対しアンケート調査を実施しました。</p> <p>また、指定管理者であるシルバー人材センターは、就業開拓の一環で市内企業の訪問を行っていますが、その際、企業の意向調査を実施し、そのデータを参考にしています、ということです。</p>

	<p>同じく 14 ページ、(2) その他特記事項、成果を利用してシルバー人材センターへ入会、これが 3 人。現在、その 3 人は、どのような活動をしていますかという質問です。</p> <p>3 名とも、現在、シルバー人材センターの会員として就業しています。内容的には、除草作業や夜間等の受付業務に従事しています。</p> <p>同じく 14 ページ、就業に役立つ講習会、27 人となっています。どのような仕事につきたいと思っているのでしょうかという質問でした。</p> <p>回答としまして、講習会受講後の調査では、就職に役立つ講習会を希望するという回答を得ていますが、具体的にこういう就職につきたいので、それに役立つ講習会といった具体的な回答は、ほとんどありませんでした。その中で、タイルの張りかえや受講した講習のさらに上級レベルのものなど、また、地域活動（高齢者との会話に役立つ技法）という意見もありました。</p> <p>同じく 14 ページの総評、改善・指示事項の企業等のニーズの把握は、具体的にどのような方法で行われたかというご質問でした。</p> <p>回答としまして、市では高齢者の就労に関するニーズを把握するため、工業団地協議会と連携し、240 社に対しアンケート調査を実施しています。</p> <p>また、指定管理者であるシルバー人材センターは就業開拓の一環で市内企業への訪問を行っていますが、その際、企業の意向調査を実施し、そのデータを参考にしています。</p> <p>以上が、高齢者就労指導センターに対する質問と回答の説明でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今の質問回答書に対するさらなる質疑も含めまして、質疑応答を行いたいと思います。</p> <p>質疑のある委員は挙手をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>これは質問ではなくお願いなのですが、松山委員さんからご指摘あったように、この施設の利用状況については、評価の事由のところ過去 3 年間を見ても極端に下がっているわけでもなくというふうに記述しているながら、81 回、51 回、44 回と、現実的には減っているわけで、ここに書いてあるように、通常作業で使っていた分が、21、22、23 年度までは含んでいたということであれば、その旨を注記しなければ比較検証できないので、ここに書いてある評価の事由ということとの数字の一貫性がなくなってしまう回、そのところは、書いた人は、多分、差し引いた感じで恐らく減って、極端に下がっていないという感覚なのだろうと思うのですが、数字を見たら現実的に下がっているので、資料としての一貫性を持つような記述に努めていただきたいと思います。そうしなけ</p>

	<p>れば、書いてあること自体、間違いのようにも読めてしまうし、比較数値としての意味もなさないのだろうと思いますので、そこはよろしくお願ひしたいと思います。</p>
高齡者福祉課	<p>わかりました。今後、気をつけます。</p>
会長	<p>よろしくお願ひいたします。回数でも利用者でも、一見すると下がっているのです。だから、むしろ、そこら辺の分析というか、何か理由があったほうがわかりやすい感じを私もおったのですけれども。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>工業団地協議会と連携して 240 社に対して行ったアンケート調査というのは、内容は具体的にはどういうものなのでしょう。</p>
高齡者福祉課	<p>内容につきましては、60 歳以上の高齡者を雇用しているかとか、あとは、希望する雇用形態とか、それから、希望する勤務時間帯、それから、希望する業務内容、それから、業務に当たる必要とされる資格とか技能はありますか、という形で聞いております。</p> <p>工業団地につきましては製造業が多いものですから、今まで同じ会社にいた方をそのまま 60 歳以上超えても雇用するということが多くありました。</p>
会長	<p>なるほど。今のは、アンケートの回答の一つですね。</p>
高齡者福祉課	<p>はい。</p>
委員	<p>アンケートは、そもそもどのぐらいの回答があったのでしょうか。240 社に対してアンケートを行って、どのぐらいの回答があって、その結果を取りまとめるとどんなことになるのか。</p>
高齡者福祉課	<p>一応 240 社にアンケートをお願いしたのですけれども、回収率につきましては、20 社しか戻ってきていませんので大体 8.3% ぐらいです。</p>
委員	<p>そのお答えの中の一つが今のようなことだったのですが、ほかには何か特記すべき点は。</p>
高齡者福祉課	<p>雇用したい職種につきましては、大体、溶接とかクレーンの操作とか特殊技術のものが多くありました。</p>

委員	かなり技能職ですね。
高齢者福祉課	それから、希望する働く日数なのですからけれども、短期ではなくて、5日間雇用したいという会社が一番多くありました。
委員	週5日ということですか。
高齢者福祉課	そうですね。
会長	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
委員	私のほうで質問した中で、就労支援を受け入れる団体の発掘をどのように行っているかということなのですからけれども、例えば60歳以上の社員を新しく雇用した場合に雇用保険のほうから助成金が出る制度があるのです。そういったものの活用とかというのは、具体的に何か考えられていますか。
会長	説明をお願いします。
高齢者福祉課	その辺は、市としては今のところ考えてはないのですけれども。
松山委員	就職したい人と企業と結びつけるために、そういった制度があるのであれば、ぜひ活用していただき、その辺の実践を図っていけばいいのかなというように思います。
会長	そうですね。助成制度があるのであれば、ご検討いただければと思います。説明を。
高齢者福祉課	今の件も含めまして、先ほどのアンケートの工業団地ということで、特殊な技量、技術という、そういう側面から高齢者の就労指導という部分で、果たして就労機会が拡大するかどうかということも一つ課題といたしまして、26年度については、県のシルバー人材センターとの連携で、その事業を今回、就労指導センターのほうで、共同で行うなどして、基本的にビル管理とか、工事現場の管理とか、特段大きなクレーンとか、そういう大きな特殊技術ではないような技術を就労のために、そういった講座を設けまして別な就労の機会に役立てていければということを進めているところでございます。 今、委員のおっしゃったご指摘の部分につきましても参考とさせていただきます。企業の方に、より就労の拡大につながるような手段として

	<p>取り入れていければと考えております。 以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしく申し上げます。松山委員のご指摘事項も含めてご検討いただければ。 ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございますか。それでは、高齢者就労指導センターについては、おおむねご意見が出そろったと思われるので、質疑はこれで終了いたします。 次、4番目、障害者支援センター、これが終わったら一旦休憩をとりたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>それでは、4番目の障害者支援センターに移りたいと思います。 それでは、質疑のある委員は挙手をお願いいたします。</p> <p>16ページの利用促進についての二つ目、自立のために送迎を使わずに自力で通所ができるように、ご自宅を出てからセンターまで通所することへの見守りというのは、どういう形でやったのか教えていただきたいのです。</p>
<p>会長</p>	<p>16ページの利用促進について、自力で通所する場合の見守りというのは、どのような形でやっているのか、説明員、ご説明をお願いします。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>具体的に、そうかどうかわからないのですが、基本的には、結構遠くから通う方については、皆さん、送迎を行っています。利用者の中に、すぐ近くの南山に居住されている方もいらっしゃいますので、その方が通所されているときに、自立の見守りを含めまして、施設側でそういった見守りをしているというような状況だと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>では、自宅から一緒にみたいな形。</p>
<p>社会福祉課</p>	<p>そうです。結構見通せる距離に利用者がいらっしゃるなので、その見守りをしているというような。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>

委員	<p>それでは、ひとつ数字の点で教えていただきたい。</p> <p>17 ページのところ、施設の利用状況で利用定員 20 名となっております。右のほうの実績では、男性 13 名、女性 8 名、合計 21 名となっております。これは定員オーバーということなのですか。この読み方がよくわからなかった。よろしく願いいたします。</p>
社会福祉課	<p>利用定員 20 名といいますのは、その施設で毎日通ってこられる方が 20 名まで大丈夫ですというような利用の形態です。ここに書いてある 21 名というのは、登録されている方が今 21 名いらっしゃるということで、皆さん、毎日通えればあれなのですけれども、週に 3 日だとかという方もいらっしゃいますので、今のところ満タンに埋まっている状況ではないというふうな状況です。</p>
委員	<p>むしろ定員オーバーということではないという。</p>
社会福祉課	<p>ないですね。</p>
会長	<p>何か先ほどのご説明だと、割とそれほど利用されていないという印象だったので、そういうことですか。いかがでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。それでは、障害者支援センターについても、おおむねご意見をいただいたということですので、質疑はこれで終了いたします。</p> <p>次は、白井コミュニティセンター・白井児童館なのですが、今 3 時になりますので、10 分ぐらい休憩をとりたいと思います。</p> <p>3 時 10 分からということで、休憩をしたいと思います。どうもお疲れさまです。</p>
会長	<p style="text-align: center;">(休憩)</p> <p>それでは、おそろいですから再開いたしましょうか。</p> <p>それでは、5 番目です。白井コミュニティセンター・白井児童館に移ります。</p> <p>それでは、これにつきまして質疑がある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。特に、これについてはいいでしょうか。</p>
委員	<p>お伺いさせていただきます。</p> <p>ここは確か 23 ページのところ A が二つありまして、上のほうの (2) の管理運営経費の削減について、で A になっております。先ほどご説明</p>

	<p>いただいたのですけれども、これは28ページのところに、5番で、管理経費支出状況のところ、いろいろな経費、施設管理事業費、その他予備費、一般管理費が減っているというようになっておりますけれども、これに対応すると考えてよろしいでしょうか。25年度予定と25年の実績で支出の項目の中で、確かに事業費とその他予備費、一般管理費が減ってきているわけですが、そのところが減ってきていると、対応しているというふうに考えてよろしいですか。ちょっと確認なのですが。</p>
市民活動支援課	はい。
委員	<p>そうすると、ただ、片方で、人件費とか施設管理費が増えてきているわけです。だから、総支出全体では若干増えたような感じになっているのですけれども、人件費とか施設管理費が増えた理由というのは何かおわかりでしょうか。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
市民活動支援課	<p>まず、人件費につきましては、学習支援員だとか、そういったような方を配置したりとかしておきまして、当初こちらで設計した額よりは人の配置を若干独自の努力で増やして、そういう事業展開をしているといったようなことがあります。</p> <p>それから、管理経費につきましては、やはりいろいろ諸物価高騰分、なかなか抑制というのが難しい状況がございまして、若干、施設の利用状況も上がってくると、どうしても増えてくるようなものがございまして、その辺は若干増えているというところなんです。</p> <p>ただ、先ほどご説明しましたように、デマンドコントローラーをつけて電気量の抑制というものを非常に企業努力でなさっていると。このデマンドコントローラー自体は、指定管理者が自ら予定事業計画に当たって設置したということで、この部分を評価してAという形になります。</p>
委員	わかりました。人件費については、むしろ積極的に事業展開をしたので少し増えたということですね。
市民活動支援課	はい、そのようなことです。
会長	<p>わかりました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。特になければ、白井コミュニティセンター・</p>

	<p>白井児童館については質疑を終了いたします。</p> <p>それでは、6番目の公民センター・勤労青少年ホームに移ります。 これは、事前の質問はないです。 それでは、これについて質疑を行いたいと思います。 質疑のある方は挙手をお願いいたします。公民センターと勤労青少年ホームです。いかかでしょうか。</p>
委員	<p>31 ページに、人員配置を考慮したBというのがございまして、計画では、責任者1人、事務員1人、児童指導員2人、夜間管理2人となっておりますけれども、実績では、少し入り繰りがあるのです。責任者1人は変わらないのですが、事務員が2人になって、常勤1人と非常勤1人になっていると。それから、児童指導員2人となっていたのが、児童厚生員2人と、これが常勤2人と。計画では児童指導員が常勤1人、非常勤1人、または非常勤2人だったのですが、事務員が1人、非常勤が加わったというのと、それから、児童指導員というのが児童厚生員となっている、これは何か意味があるのかというのが、もしおわかりになればひとつ教えていただきたいというふうに思った点です。</p> <p>もう一つ、34 ページのところ、管理運営経費の削減でサポーターの育成という言葉が出てくるのですけれども、これは私が余り詳しくないというか、素人なものですから、サッカーのサポーターとかいうような話はよく聞くのですけれども、ボランティアをさらに超えた概念としてのサポーターということが、これは通常言われていることなのか、あるいはオリジナルにここの指定管理者ワークスコープで作り出した概念なのか、そこら辺を教えていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。この2点。よろしく申し上げます。</p>
商工振興課	<p>最初の31 ページのところの人員配置の関係ですけれども、事務員なのですけれども、非常勤を1人追加しているということで、右の評価の事由にもございますけれども、常時事務室に2人の職員の配備をされていることで、問い合わせとかに速やかに対応できるようにしたということで、非常勤の増員を図ったということでございます。</p> <p>それから、児童指導員2人と、それから、児童厚生員2人なのですけれども、こちらも、それぞれ2人の常勤ということで強化を図っておりますけれども、正式な名前として児童厚生員、保育士ということでご理解願いたいと思います。</p>
委員	<p>なるほど、児童厚生員のほうがむしろ正式の呼び方という。</p>

商工振興課	児童厚生員が正しい呼び方です。
委員	わかりました。
商工振興課	もう一つの 34 ページのサポーターの位置付けでございますけれども、管理の実績のところの書き方がわかりにくい点がございまして、実は、これも評価の事由のところ、右の欄に、主体的に運営を行うものと、こちらの方をサポーターと位置づけるということをして、市民と協働で事業展開を実施し、効率的な運営を行ったというふうなものでございます。実際にやるものをサポーターと位置づけて行ったということでございます。
委員	通常ボランティアという場合には、運営にはかかわらないのですか。サポーターというのは、ボランティアよりももっと一步踏み込んで主体的に運営を行うという意味で、職員とともに運営にかかわるからサポーターだということなのですかけれども、ボランティアというのは、通常はそういうことはないということになってしまうね。ボランティアというのは運営にかかわらないものなのかどうなのかという、そこら辺が非常によくわからなかったもので、ちょっとご質問。
商工振興課	ここは評価項目が管理運営経費の節減というところで、サポーターの育成ということで、ボランティア的なことよりも、ここに携わっている職員のサポーターということで位置づけて事業を展開したというふうな内容のことを書いてあるわけで、特にボランティアとの説明ではないわけなのですかけれども、ちょっとわかりにくいですが。
会長	わかりました。よろしゅうございますか。いかがでしょう。
委員	40 ページ、施設の利用状況のところなのですかけれども、今までは人数を申し込みの人数で把握していたのだけれども、実際の人数を確認することが可能になったので、そうしましたと。そうすると、24 年と 25 年というのは 9,000 人ぐらい違うわけですね。ほかの施設も含めて、どういう利用状況の把握をしていたのかというのを教えていただきたい。それぞればらばらなんですか、各施設は申し込みであったり、各施設は実際の人数で、9,000 人も違うということになると、これは一体どういう数字なのかという話になります。
会長	よろしくお願ひします。

商工振興課	<p>こちらの利用者の把握につきましては、今までは申し込み時、例えばレクホールを利用するに当たって 30 人というふうな申請があったわけですが、それをその 30 人が利用したということでカウントしていたということでございますけれども、今度はシステムが入りまして、実際に利用した実人数をカウントすることができるようになったと。それに改めたところ、実際のところ年間で、全体で 2 万 820 名というふうになったという要件になります。大きく人数が減ったというのは、なかなかそれ以外に原因があるかというところなのではございますけれども、一応、指定管理者のほうでは、申し込み人数を実人数でカウントしたことによるということで報告を受けているものでございます。</p>
委員	<p>それまでのほかの施設についても、全部、今までは申し込み人数で把握していたということですよね。ここに書き出し、いろいろな施設がありますよね。西白井複合センターがあつたり、いろいろあるじゃないですか。どこでも申し込みというのはあくまでも仮の数字で、ある団体が大体 30 人ぐらい来るからな、実際、数人しか来ないよと、こういうことはよくあることではあるのだけれども、実態というのは離れちゃいますよね。今聞きたいのは、ほかの施設も、そういうシステムが完成してやっていなかったということは、全て今までは申し込み時の人数で把握していたのですか。それは全体で聞かないとわからないのですけれどもね。</p>
会長	<p>今の委員のご質問、利用状況を考えたときに人数、申し込み時の人数か実人数か、それは把握の仕方は施設によって違うのか、統一されているのか。よろしくお願いします。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習課でございます。 白井駅前センター、西白井複合センター、桜台センターにつきましては、やはり登録人員から利用者の実人数のほうに変えてございます。</p>
会長	<p>それはいつ時点、同じタイミングですか。</p>
生涯学習課	<p>白井駅前センター等の公民館等につきましては、23 年 9 月より変えさせていただきますということです</p>
委員	<p>違うのですね。</p>
生涯学習課	<p>公民センターの関係でございますが、やはり状況的には同じタイミングでの変更をさせていただきます。月に 1 回、センター長会議と館長会議が</p>

	<p>ありまして、その中で、こういう登録とか人員、利用状況の把握について、やっぱり登録より実際の利用状況がいいだろうという形になりましたので、そのときに一齐に変更を二つと同時にしてあります。</p>
<p>会長</p>	<p>いかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>これからは、実態が、実質がわかってくると。そうすると早い話が9,200人、1万人近い人数が、名目人数が出ていて、かなりすごいなと改めて思いましたけれども、今後は実際の人数をしっかりと把握されて、実態というものをやっぱり見せてほしいなという、それでやるべきだなと思えますので、ぜひ、それやられているわけですから、今後そうしてください。お願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>変更のときには、恐らく従来ベースで上がったら幾らと、それから、実態ベースでは幾らと、2本立てで書いてあるとその連続性がわかると思うのです。例えば24年度までは申し込み時のベースで25年度からは実人数ということであれば、25年度について申し込み時の人数ではなかった場合には幾らという数字が併記してあれば、それほど違和感はないのではないかなと思うのですけれども、変更をした後の次元の違う数字だけで載っていると、これはなかなか評価するのは難しいなということじゃないかなとは思いますが、よろしゅうございましょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうしたら、今の点で関連してですが、やはり指定管を導入した目的としては質と量の向上という部分あると思うのです。一つ、計る尺度として、このやっぱり利用人数が増えたか減ったかというのは大きな尺度になるものだと思うのです。それが一貫性……同じ物差しじゃなくて全然比較検証できないということであつたら、指定管を入れた意味をどこではかるのだろうという物差しがなくなってしまうのだろうと思うのです。ですから、そこのところは、やはり今後どういうふうに注記していくのかということも、今、委員長さんからお話あったように、そこのところはきちんとできる範囲で物差しとして通用するような表として整備できればしてほしいと思います。そうしなければ、これ23年9月時点を入れたということであれば、例えば公民センターで言えば、24と25で申し込み時、これいつ入ったかということ年次が入っていないのですが、いついつの時点と比較はできて、いつの時点で減ったものなのかというのは、全然わからずここに書いてある総合計の数字は、ただ合計が書いてあるだけであって、意味をなさない数字になってきてしまうと思うので、先ほど委員長さんからあったように十分注意をしていただきたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>そうですね。貴重な数字ですから、実績をはかる非常に重要な数字でございますので、今、伊藤委員からご指摘ありましたように整合性のある数字を整理いただければというふうに思います。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、よろしゅうございましょうか。公民センター・勤労青少年ホームについては、おおむね意見をいただいたということで、次に移りたいと思います。</p> <p>それでは、7番目の白井駅前センターについての質疑を行いたいと思います。</p> <p>これについての特に事前の質問というのはございません。</p> <p>白井駅前センターにつきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうしますと、これも先ほどの施設の利用状況について、同じようにして2点ほど確認しなきゃいけないのかなと。</p> <p>48ページでございますけれども、駅前センター、公民館の利用状況について21年度から25年度までございます。まず一つ確認したいのは、これはカウントのベースに変更があるのかなのかということなんです。もしないのだとすると、23年度がピークになって、それまではだんだんふえていったわけですけども、それ以降、だんだん減ってきて、これについて、やっぱり何らかの評価が必要なんじゃないかなというふうに思われるのですが、その辺はいかがでしょうか。</p> <p>よろしくお願ひします。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>これにつきましても先ほどのコミュニティセンターと同様に、ここに注釈がありますが、23年9月より登録人員から利用者人員の実数に変えたため数字の変更が生じたとございますので、先ほど委員さん方ありましたように、申し込み時と利用時の2本立てできれば、そういう形の評価をさせていきたいなというふうに思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>なるほど、よろしくお願ひします。ですが、それにしても23年度がピークだったわけですね。23年度に変更があったということは、24年度から数字を変えたということですか。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですか。そうすると、これは数字を整理していただかないと評価</p>

委員	<p>しようがないという感じですね。わかりました。 ほかにいかがでしょうか。</p> <p>43 ページに、外部研修の一番下のほうに南山中学校評議員として、というのがあるのですが、これはセンター長さんが評議員として中学校の年に2回やら3回やらの会議に出向いているということですかね。センター長さんが評議員になっているということでしょうか。</p>
会長	<p>説明よろしくお願いたします。南山中学校の評議員。 よろしくお願いたします。</p>
生涯学習課長	<p>申しわけございません。このところセンター長か職員なのか、それを確認してございません。申しわけございません。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>では、ご確認をよろしくお願いたします。ほかにいかがでしょうか。 よろしゅうございますか。それでは、白井駅前センターについての質疑は、これで終了させていただきます。</p> <p>それでは、8 番目、西白井複合センターに移ります。 これにつきましては事前に質問がございまして、質問回答が出ております。これのご説明、事務局、よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>評価表、55 ページ、5 番の管理経費の支出状況等に関する事項、組織維持管理費が 156 万 2,811 円減少しているが、その理由は何かというご質問です。</p> <p>回答としまして、予算における組織維持管理費等 400 万円については、内訳として、指導管理人件費 250 万円と組織維持管理費 150 万円の合算となっております。</p> <p>一方、決算におきましては、組織維持管理費 243 万 7,139 円については、指導管理人件費を含んでおらず、指導管理人件費 328 万 8,270 万円は人件費としておりましたということで、正確な対比ができない内容となっておりますということで、組織維持管理経費について 250 万円の指導管理人件費と組織維持管理費 150 万円となりまして、決算におきましては、指導管理人件費が 328 万 8,270 円、組織維持管理費が 243 万 7,189 円、人件費については 2,239 万 7,217 円ということで対比ができると思います。</p> <p>人件費約 200 万円の差額については、不測の事態（欠員発生、退職等</p>

	<p>による引き継ぎなど)の重複配置などに対するマージン及び交通費などの諸経費の見込みに対するマージンなどを見込んだ予算となっていることによるものです。</p> <p>指導管理人件費約80万円の増額については、地域事業所単位で地域事業所内のセンター長が地域事業所長として地域内の各センターの基本的な要素を取りまとめ、取りまとめた内容を本部で処理するための経費となっていますが、白井地域事業所では、これまでの諸事情により、地域事業所内から所長を立てることができず、事業本部の職員が兼務しており、取りまとめた部分の事務が増加したため増額となっていることによるものです。</p> <p>組織維持管理費約100万円の増額については、当初予算策定時に見込めなかった設備投資(各種システム等の更新、賃借料の増加)の要因による本部経費等が増加を反映させる必要が生じたことによるものです。</p> <p>以上が、回答でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、今のご回答に対する質疑を含めて質疑応答を行いたいと思います。</p> <p>まず、今のご回答についていかがですか。</p>
<p>委員</p>	<p>6ページのところなのですが、これまで諸事情により地域事業所内から所長を立てることができないということなのですが、これまでの諸事情ってどういうことなのですか。本来は立てるべきだけでも、何か理由があって立てられないということですか。</p>
<p>会長</p>	<p>説明、よろしく申し上げます。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>諸事情というワーカーズ内部のことになっておりまして、詳しいところの経緯までは詳細に中身を聞いていなかったところなのですが、ただ通常はワーカーズコープという全国組織の中で、ある一定の地域ごとにそれを立てる、地域事業所という地域ごとの固まりをつくって、その中で長を立てるということにはなっているということが現実としてはあるというふうに聞いております。ただ、なぜそういうふうに行っていないのか、白井の特殊事情というところまでの部分については、すみません、詳細まで確認しておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>では、今度確認していただいて。ここに諸事情と書かれると何か、と疑問もあるし、そのことによって人件費がふえちゃったのかなと、立てられればそうではなかったのかなと、いろいろ勘ぐったりしたので、その辺を確認してください。</p>

委員	<p>これの印象からすると、当初 250 万だったということは、年度内に所長を立てるということだから発生しないだろうと読んでいたのが、立てられなかったので発生しちゃったというようなご説明かなと思うのですけれども、そうすると、次年度はどうするのでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>今年度につきましては、この白井地区の統括をする長として西白井のセンター長がその職についていたということは聞いております。ですので、今年度については、その部分は……。</p>
会長	<p>それは、ちょうどふえた分が人件費の減少分をうまく担っちゃっているので、最初から、ある程度見越していたのかなという印象を受けた。そうではないのですか。わかりました。ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>ワーカーズコープさん全体、ほかもやっているということなのですけれども、人件費などの本部経費と実際のそこで働いている従業員に払う人件費等は、予算の段階できちっと分けられるのであれば、最初から分けといたらいいと思うのです。そうしないと比較ができないですし、今回の場合でも人件費が 200 万ぐらい実際には減ってくる形です、実際の労働者に対しての人件費は。この辺は、やっぱり最初の予算の段階から分けておいたほうがいいのかというふうに思います。</p>
生涯学習課	<p>今回のまさにこの指導管理人件費のところについて、その他の施設についても、そのような形で行うように指示したいと思います。</p>
会長	<p>よろしくお願いします。よろしいですか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ほかにいかがでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>総評のところの社会教育主事の人員等、56 ページですけれども、配置されないから、そこについての評価も新たに加わったということだけでも、改善を求めて 7 月から予定されているという事業者から通知があったということで、7 月過ぎたわけですけれども、現在どういう状況になっているのでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>7 月からそのところが配置されて、現状は通常どおり。</p>
委員	<p>できるようになりましたか。それはよかったです。</p>

会長	<p>一つ解決したわけですね。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。それでは、西白井複合センターについての質疑は、これで終了させていただきます。</p> <p>9番目、桜台センターに移ります。これにつきましても、事前のご質問に対して回答がありますので、事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>桜台センターの質疑ですが、評価表、63 ページ、(1) 番、自主事業の実施について、サークル立ち上げ、インターナショナルスクールについて、どのようなきっかけで立ち上げ、現在はどうかという質問です。</p> <p>サークルの立ち上げについては、桜台地区に在住していた桜台センターを利用して外国人の母親数名から、離乳食（国の食材やシステムなど）が日本と違うから不安、また、幼稚園と保育園の違いがわからない、友達もおらず、ひたすら夫が帰ってくるのを家にこもって待っているだけという状況を聞いて、何とかそういう外国人が集える場をと立ち上げた。</p> <p>サークルの1年間の状況。実査にやってみると、年16回開催、146組、355名参加ということで、初回、英会話スクールと勘違いした日本人の母親が多数いて、趣旨を説明したところ2回目からは参加人数がぐっと減りました。そのため、健康課と協力して母子手帳を配布するときに外国人の母親に英語で書いたリーフレットを配布したりしてみたものの、行きたくても桜台センターの立地条件が悪く、家から遠くて車が運転できないと行けない、また、来ていた外国人の母親も里帰りをすると二、三カ月日本に帰ってこないなどで、最終的に外国人の母親は1人になってしまった。</p> <p>今年度の状況として、形を変えて1歳児サークルの中で英語を身近に感じてもらおうという趣旨の事業になっている。ただ、昨年度参加していた中国人の母親が来ているので、そこからまた地道に交流を広げていくのが狙いということでございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、今のご回答に対する質疑を含めて、質疑応答を行いたいと思います。いかがですか。今のご回答で、何かさらに追加のご質問等。</p>
委員	<p>今年度の状況として、形を変えて1歳児サークルの中で英語を身近に感じてもらおうという趣旨の事業になっているということですが、英語を身近に感じてもらうという趣旨の事業と、もともとの立ち上げのあれとの内容は全く違うのかなという感じがするのですけれども、最終的に外国人のお母さんが1人になってしまったのでということなので、年16</p>

	<p>回開催して 146 組で 355 名いたのが最終的に 1 人になっちゃったのかという差に驚いているのですけれども、初めてのことなので様子を見たいかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>年 16 回で 355 名参加というのは多いですよ。1 回目が。</p>
<p>委員</p>	<p>だから、1 回目、英会話スクールと勘違いして日本人のお母さん方がいっぱいいたからということで、その勘違いした日本人のお母さんを除いたときに、実際、外国人のお母さんって何人いたのかなというのが知りたいです。</p>
<p>児童家庭課</p>	<p>実際に、本当に少なかったのですよ。ここに書かれてある 146 組 355 名参加というのは、ほぼ日本人です。最初のうちは、やっぱり多くて期待して来てくださったお母様方が、外国人の方が 3 名ほどはいたみたいなのですけれども、だんだん、周りが日本人だらけなので、お母さんたちも、違うわと思って、なかなか来づらい感じになってしまったところで、こちら児童館のほうでも意図していたところとだんだんずれてきてしまったので、このままやっても何かいまひとつ。参加人数、日本人も、何か思っていたのと違うわというので、だんだん減ってきてしまったというので。</p> <p>ちょっと、また、外れるのですけれども、これを桜台の地区でやると、やっぱり足がないから通えないという方もという声がよく聞かれたので、できれば、ほかのセンターでこの事業を引き継いでくれないかと、健康課のほうからもできればやってほしいなという声があったので、昨年度の最後の児童館の担当者会議のときに、駅前さんとか、ずっと大きいところに振ってみたのですけれども、来年度の事業がもう決まってしまうので、そこに新しいのは、今、組み込めないという話もあって、こういった形になってしまったのですけれども、この事業は、まだ桜台センターさんも、これを潰す気はないらしく、私も何かこれは興味を引かれたので、ずっと 1 年間見守っていたのですけれども、できれば違った形でつないでいけたらなというので、今様子を伺っているところであります。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>インターナショナルスクールという名前なので、きっとそういう何か勉強できるのかなって思ったのでしょうか、恐らく名前がそういう感じ。実際、でも、そうやって困っている外国人のお母さんは、本当は、今まで気づけなかったけれどもたくさんいるのだろうなという感じはし</p>

<p>会長</p>	<p>ます。何かセンター会議のときにでも、どこかでそういうのができると本当はいいかなという感じはしますけれども。今までなかったのが、かえって不思議かなという感じもします、言われてみると。</p> <p>他にいかがでしょうか。よろしいですか。それでは、特に他になければ、桜台センターについての質疑は、これで終了させていただきます。</p> <p>続きまして、10番目、白井市民プールに移ります。 白井市民プールにつきましても質問回答がございますので、事務局のほうで、ご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民プールに対する質問でございます。評価表、71ページ、管理の実績の(1)収支の状況、収入の中のその他収入153万4,455円はどういう内容かというご質問です。</p> <p>回答としまして、その他収入の内訳ですけれども、回数券販売収入127万1,100円、新聞店への招待券の販売として25万7,400円、雑収入として、公衆電話、廃油売却収入等が5,955円、合計で153万4,455円ということです。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、質疑を行います。 今の回答についてのさらなる質疑も含みますけれども、よろしいですか、今のご回答。</p>
<p>委員</p>	<p>区分けとしては事業料金収入に入るのかなというふうにも思うのですが、ただ、回数券というのは来年度も使えるのでしたっけ。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>はい。</p>
<p>委員</p>	<p>そうすると、やっぱり別建てにした方がいいということなのですかね。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>そうですね。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>会長</p>	<p>来年度も使えるのですか。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>はい。</p>
<p>会長</p>	<p>なるほど。来年度の収入は減る可能性はあるというか、来年度はない。</p>

生涯学習課	<p>来年度も同じように回数券の販売は行うのですけれども、一応、回数券のほうは本年度限りというふうにはしていませんので、6回分の料金で7回入れるような回数券なので、余ってしまった場合は、その回数券は来年使っていただいて結構ですというふうに。なので、その他収入というふうになっております。</p>
会長	<p>なるほど、そういうこと。わかりました。ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>これも、さっきの一番最初のとおりと同じように、244 ページに、25 年度市民プールの管理に係る収支状況という全体の表が載っているのですが、これもかなり収益性が高いです。全体の事業収入が 6,400 万に対して収益が 650 万ですから、これもいわば純利益 1 割以上という、企業で言えば非常に高収益のプロジェクトなのですけれども、この場合は、さっきの冒頭と違って管理主体が企業です。ということは、企業収益が 650 万上がって、それは指定管理者にそのまま還元されることになるわけですね。ということでよろしいですか。</p>
生涯学習課	<p>はい。</p>
委員	<p>それに対して指定管理料が 2,300 万円ということなのですけれども、これは考え方の問題なのですけれども、指定管理者が純然たる民間企業の場合、このような形でいろいろ事業をやって事業収益も上がると、その分、支出もふえるわけなのですけれども、純益が 1 割以上になりますので、こういうような形で、企業努力で利益が上がれば上がるほど、それは高く評価するのだと。上がった利益は、そのままその企業に還元されるのだという考え方でよろしいのでしょうかという質問なのです。だから、これは事業主体が例えば社会福祉協議会とかそういうものであれば話は別だと思うのですけれども、企業にこういう委託をした場合、これ評価も非常にいい事業成果が上がっているということで A 評価になっているのですけれども、これは収益が上がれば上がるほどいいのだという考え方でよろしいのでしょうかという質問なのです。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>
生涯学習課	<p>一つとすれば、事業計画につきましては、過去 3 カ年の実績を伴っての評価だと思います。ただ、3 年間、好天に恵まれていると思うのですが、運営上、指定管理ですので、もし天候が悪くても指定管理についても変動はないということがありますので、その中での経費としての扱いはできるかなと思います。ですから、単年度で見るとプラスかもしれませんが、次年度以降の例えば天候が悪い場合については、その分は会社の利</p>

	<p>益の中で負担するのかなというふうに。</p>
会長	<p>これは初年度でしたっけ。</p>
生涯学習課	<p>そうです。</p>
会長	<p>そうですか、なるほど。3年間ということですね。</p>
生涯学習課	<p>そうです。</p>
会長	<p>だから、その間、様子を見ないとわからないと、そういうことですね。</p>
生涯学習課	<p>はい。</p>
会長	<p>わかりました。ほかにいかがでしょうか。 よろしゅうございますか。それでは、市民プールについての質疑は、これで終了させていただきます。</p>
	<p>11番目の白井運動公園に移ります。 これにつきましても、質問に対するご回答がございます。それでは、これも事務局のほう、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>運動公園に関する質問で、評価表、72ページ、(1)自主事業の実施計画、25年度は開催中止のものが多いが、26年度はどのように計画し、その効果はどうかということで、平成26年度の実施事業計画は下記のとおりということで、テニススクールが三つ、ビギナーズ、ワンデー、ダブルスクリニック、ポールウォーキング、ラクロス試合開催及び体験、カブトムシ捕り体験、ヨガ教室ということで、26年度の自主事業4月から7月末までの参加実績ということで、別紙でお配りしております。 以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございます。それでは、質疑応答を行いたいと思います。今のご回答についていかがですか。</p>
委員	<p>26年度の実績表の中でも、やっぱり例えばビギナーズイベントは、これはやっぱり、ずっと続けて2回行われていないとなっていますけれども、この辺のところは、このまま継続するということですか。</p>
生涯学習課	<p>昨年から、モニタリングの企画の成果だと思いますが、特記事項に、</p>

	<p>やはり自主事業については、利用状況に勘案して行うように指示はして ございます。なおかつ、ただ、26年度、大きな事項、こういった形で きたものですから、再度、自主事業については、もうちょっと検討して いただきたい旨のときは、また再度指導したいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。よろしいですか。</p>
委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>それでは、また細かいことなのですけれども、75 ページに、5 番の施 設の利用状況と6番の利用料金収入について、ございまして、テニス コートなのですけれども、利用者は24年度に比べて25年度のほうはふ えているのです。事業計画と、それから、実績の対比で見ると、テニス コートで当初計画していた収入よりも実績のほうが減っているわけ ですけども、これは、25年度の当初計画で見込んでいたときの利用者とい うのは、実績よりもさらに大きくふえると見込んでいたということ なのではないでしょうか。実績ベースで見ると、25年度、相当ふえてい るような感じがするのですけれども、計画の数値には至っていない ですね。お願いします。</p>
生涯学習課	<p>細かいところは、申しわけございません、把握してございませ んが、後でデータを出して回答します。</p>
会長	<p>よろしく申し上げます。ほかにいかがでしょうか、白井運動公園。 よろしいですか。特になければ、白井運動公園についての質疑を終了 させていただきます。 そうしますと、以上で、議題1、平成25年度モニタリング評価結果の 報告について、これを終了いたします。どうも大変お疲れさまでした。 質疑の内容や審査会で出た意見を今後の施設の管理運営の参考として いただきたいと思います。担当課の皆さん、大変お疲れさまでした。</p> <p>——モニタリング施設担当課退席——</p>
会長	<p>ひとつこれは事務局のほうでお答えいただいて、モニタリング評価表 全体に関することなのですけれども、委員から質問がございませ ん。これにつきまして、それでは、事務局のほうでご説明をお願い いたします。</p>

事務局	<p>モニタリング評価表に関する全般ということで松山委員より質問をいただいております。過去2年にわたり白井市長へ答申している提案として社会保険労務士による労働条件審査があるが、昨年度第2回審査会の会議録ではモニタリング評価での活用について事務局で検討するとなっている。その検討状況について教えていただきたい。情報として、千葉県においては、流山市、市川市において、26年度から社会保険労務士による労働条件審査が実施されており、今後、他市でも導入が検討されているというご質問でした。</p> <p>回答といたしまして、社会保険労務士による労働条件審査をモニタリング評価で活用することについての検討につきましては、今年度から導入している他市の状況について、実施状況などを参考にしながら、導入する効果はどうか、導入するにはどのような方法がよいかなどを検討していきたいと考えています。</p> <p>また、公契約条例については、契約の担当課にも確認しておりますが、導入は難しいため、公契約によって労働条件審査を行うことは難しいと考えております。以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。今のご回答につきまして。</p>
委員	<p>今後の検討ということなのですが、具体的に検討する組織を作ったりとか、そういうふうな予定というのはあるのでしょうか。その辺、教えていただきたいということと、あと、流山市につきましても26年度から実施するのですが、流山市の場合には、やっぱり指定管理者に対して労働条件審査を導入するということが、管理運営状況のモニタリングに対するガイドラインという中に、その評価の仕組みとして専門家による第三者の目を見た効果というものを新しく取り入れたいという、そういった意向はあります。白井市においても所管課によるモニタリングはされていますけれども、やっぱり第三者の目を見た評価というのは必要だと思いますので、ぜひとも導入についてご検討いただきたいというふうに思います。</p>
会長	<p>第三者評価ですね。</p>
事務局	<p>実際、導入するかどうかという、検討組織をどうするかということですが、そういったことも含めまして、実際行われる予定の流山市さんの状況をいろいろ確認して検討させていただきたいと思います。</p> <p>余談なのですが、市川市のほうも内容を伺ったところ、今年度は実施しない、ほぼやらないということを確認しました。理由までは伺っていませんでしたが、そのように指定管理については行わないとい</p>

委員	<p>う返事をいただいております。以上です。</p> <p>今、ご回答の中で、確かに市川市においては、指定管理者については、労働条件審査は実施しないことになっています。ただ、建設工事業者については、やっぱり実施するという中身になっていまして、その辺の各市等の対応も、私どもの千葉県の社会保険労務士会のほうで対応しておりますので、その辺の情報をもし必要であればご説明させていただければというふうに、今後、思います。</p>
会長	<p>では、そういう情報についてもぜひ提出されて、そこを検討していただきたい。</p>
事務局	<p>ご相談するようなことがあれば、また、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>やっぱり私も、第三者評価というのは必要なのだなという感じはしています。今のご質問・お申し出についてはよろしゅうございますか。</p> <p>そうしますと、議題1は、これは全て終了でございます。</p> <p>議題の2、非公募施設の審査方法について、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題の2、非公募施設の審査方法について、指定管理者の審査につきましては、白井市指定管理者選定審査会審査手順の基本的事項に、原則、第1次審査、第2次審査及び総合審査の3段階で行うこととされていますが、第2次審査については、事業計画書等で可能であると審査会が判断した場合、第2次審査を省略することができ、事業計画等の審査方法については、第2次審査を省略する場合は第1次審査に応募団体の出席を求めヒアリングを行うものとしています。</p> <p>今年度の審査施設、高齢者就労指導センターにつきましては、現在の指定管理者への1者指名としています。このようなことから、この施設の審査方法については第2次審査を省略する審査方法としたいと思ひますが、ご審議いただきたいと思ひます。</p> <p>なお、今までの事例ですけれども、昨年審査をお願いしました地域福祉センター、市民プール及び一昨年の障害者支援センターが非公募で1者指名であったこと、指名する団体がそれぞれの施設の指定管理者であったことなどから、第2次審査を省略し第1次審査及び総合審査を1日で行っております。</p>

会長	<p>ただいまの事務局の説明のとおりですけれども、今年度の更新施設であります高齢者就労指導センターの審査方法について、2次審査を省略して審査するか、1次審査・2次審査・総合審査で行うかということでございます。これにつきまして質疑のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>2次審査を省略する場合には、1次審査のときに応募団体の出席を求めてヒアリングを行うということで、これまでもやってきたことでございます。特にご異議なければ、その方法で今回もやりたいと思います。よろしゅうございましょうか。</p> <p>では、そのようなことで進めさせていただきます。第2次審査を非公募施設の場合には省略するというので、第1次審査に応募団体の出席を求めてヒアリングを行うということで、これに決定させていただきました。</p> <p>対象になっておりますのは、繰り返しになりますけれども、高齢者就労指導センターの審査でございます。</p> <p>それでは、続きまして、議題の3、今後のスケジュールについて事務局に説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて説明します。</p> <p>平成26年度指定管理者導入の全体スケジュール案及び平成26年度白井市指定管理者選定審査会日程表案をごらんください。</p> <p>今年度の審査対象施設ですが、1施設であり、指定管理の更新になります。高齢者就労指導センターで、募集方法は非公募の1者指名でございます。</p> <p>9月に第2回の会議を開催し、第1次審査及び総合審査を行い、10月に第3回の会議を行い、答申について審議をお願いしたいと思います。</p> <p>市の議会への指定議案上程は、11月下旬からの議会定例会を見込んでいます。議会の議決が得られましたら、担当課での協定締結等を経て、27年4月1日より指定管理の開始となる予定でございます。</p> <p>また、第2回の会議の日程につきましては、現在、大体予定されている議会に影響がない、議会の日程は確定しておりませんが、予測できる範囲での日程調整ということでお配りしておりますので、その間で調整をお願いしたいと思っております。</p> <p>委員間の日程確認の結果 第2回 9月19日(金) 午前9時30分から 第3回 10月10日(金) 午前中 を予定することを確認 (※後日、両日とも会議開催不可の為再度日程調整)</p>

事務局	<p>それでは、事務局のほうからの連絡ですが、本日の会議録は、でき上がり次第、各委員さんに送付させていただいて、ご確認お願いするようになります。そちらは、修正が終わった時点で、お名前は伏せた形で公表させていただくようになります。ホームページ及び1階の情報公開コーナーのほうに公開させていただきます。</p> <p>あと、次回の会議資料については、また事前に送付させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、この後、高齢者就労指導センターのほうに視察に行きたいと思います。</p> <p>以上をもちまして本日の第1回指定管理者選定審査会を終了とします。大変お疲れさまでした。</p> <p>(閉会)</p>
-----	---